

資料 4

【別冊】

自殺危険因子評価尺度

自己破壊行動危険性一覧表

Schedule of Self-Destructive Risks (SOS-DR)

絶望感評価尺度

Subscale of Hopelessness (SOS-9)

自己破壊行動危険性一覧表 (SOS-DR)

第Ⅰ軸：精神症状群

- | | |
|------------------|-------------------|
| Q 1 精神症状の既往歴 | Q 2 精神科入院歴 |
| Q 3 入院後の期間 | Q 4 退院後の期間 |
| Q 5 現在の自殺念慮 | Q 6 自殺念慮の告白 |
| Q 7 自殺企図の有無 | Q 8 自殺企図の致死性 |
| Q 9 自殺企図の手段 | Q 10 過去の自殺企図の回数 |
| Q 11 過去の自殺企図の致死性 | Q 12 過去の自殺企図の手段 |
| Q 13 自責感 | Q 14 自己不全感 |
| Q 15 抑うつ性妄想 | Q 16 心気症を伴う抑うつ |
| Q 17 被支配妄想 | Q 18 将来に対する悲観 |
| Q 19 精神障害に対する悲観 | Q 20 自制力低下への恐怖 |
| Q 21 焦燥感 | Q 22 昂揚感 |
| Q 23 躍・うつ混合状態 | Q 27 身体疾患に伴う抑うつ症状 |

第Ⅱ軸：人格と発達期における問題

- Q 24 反社会性人格傾向

第Ⅲ軸：身体疾患

- | | |
|--------------|--------------------|
| Q 25 身体疾患の既往 | Q 26 慢性または難治性の身体疾患 |
| Q 28 てんかん | Q 29 側頭葉てんかん |

第Ⅳ軸：社会経済的背景

- | | |
|------------------|-----------------------|
| Q 30 青年期以前の離別体験 | Q 31 親しい対人関係の喪失 |
| Q 32 (対人関係)喪失の時期 | Q 33 対人関係における心的外傷体験 |
| Q 34 心的外傷の時期 | Q 35 独居または独身 |
| Q 36 家族関係における不安定 | Q 37 職業(学業)上または経済上の問題 |
| Q 38 挫折体験 | Q 39 援助の乏しさ |
| Q 40 治療に対する過度の依存 | Q 41 治療に対する信頼低下 |

第Ⅴ軸：社会的適応状態

- | | |
|---------------|------------|
| Q 42 交友関係 | Q 43 親友の人数 |
| Q 44 教育歴 | Q 45 就労 |
| Q 46 社会的機能の低下 | |

追加項目

- | | |
|-----------|---------------|
| Q 47 不眠 | Q 48 記録力低下の自覚 |
| Q 49 執着気質 | |

※各項目に対する面接者の評価は原則として以下のコードを用いる；

- 1 否定
- 2 肯定
- 8 対象者は質問を理解しているが、対象者自身はどちらとも判断できない
- 9 質問をしなかった・質問をしても情報が得られない

※本面接法は半構造化面接として実施する。質問文に対する対象者の回答を回答欄にコード化するが、対象者が質問を正しく理解していないと思われる場合や回答の信憑性が疑われる場合には、評価者自身による質問を補足して対象者の回答を吟味した上でコード化する必要がある。特に妄想に関する質問では、質問文後の（ ）内の条件を参照して症状評価に必要な質問を適宜補足して評価する。

「これから将来に対してあなたがどれほど希望を持っておられるかを調べるために質問をしたいと思います」

Q 1 : 精神症状の既往歴

「精神科で治療を受けたことがありますか？」

(過去に精神障害のエピソードがあり、その治療が現在では終了している場合には既往歴として扱うが、その治療が続いているか中断している場合には現在に連続するエピソードとして扱う)

1 2 8 9

「現在、精神科で治療を受けていますか？」

1 2 8 9

Q 2 : 精神科入院歴

「これまでに精神科に入院をしたことがありますか？」

1 2 8 9

【1ならばQ 4へ】

Q 3 : 入院後の期間

「現在、入院して1カ月以内ですか？」

1 2 8 9

入院後の日数 []

【2ならばQ 5へ】

Q 4 : 退院後の期間

「退院して3カ月以内ですか？」

1 2 8 9

退院後の日数 []

Q 5：現在の自殺念慮

「最近、あなたは死にたいと考えますか？」

1 2 8 9

【1 ならばQ 6へ】

「死にたいという考えはしばしば浮かびますか？」

1 2 8 9

Q 6：自殺念慮の告白

「最近、あなたは死にたいと考えていることを誰かに話したことがありますか？」

1 2 8 9

Q 7：自殺企図の有無

「これまでに自殺を実行に移したことがありますか？」

1 2 8 9

【1 ならばQ 13へ】

「この3カ月以内に自殺を実行に移しましたか？」

1 2 8 9

【1 ならばQ 10へ】

3カ月以内での自殺企図の回数 []

Q 8：自殺企図の致死性

「自殺を実行に移した際、生命に拘わるため厳重な医学的処置を受けましたか？」

1 2 8 9

Q 9：自殺企図の手段

(該当する項目の□に×印を記入、複数回答可)

単独で実行 複数で実行

縊首 服薬 服毒 ガス 飛び降り 飛び込み 入水 手首切傷

その他の刃物の使用

上記以外の手段 []

Q 10：過去の自殺企図の回数

「この3カ月以前に自殺を実行に移しましたか？」

1 2 8 9

【1 ならばQ 13へ】

3カ月以前の自殺企図の回数 []

Q 11：過去の自殺企図の致死性

「この3カ月以前に自殺を実行に移した際、生命にかかわるため厳重な医療的処置を受けましたか？」

1 2 8 9

Q 12：過去の自殺企図の手段

(該当する項目に丸印、複数回答可)

- 単独で実行 複数で実行
縊首 服薬 服毒 ガス 飛び降り 飛び込み 入水 手首切傷
その他の刃物の使用
上記以外の手段 []

Q 13：自責感

「最近、あなたは何事につけても必要以上に自分を責めてしましますか？」

1 2 8 9

「最近、自分は悪い人間だという考えに毎日のように悩まされていますか？」

1 2 8 9

Q 14：不全感

「最近、自分はだめな人間だとか、無力な人間だと毎日のように思いますか？」

1 2 8 9

Q 15：妄想

「最近、気分が憂うつですか？」

1 2 8 9

【1ならばQ 17へ】

「最近、自分を責める考え方や何事もうまく行かないという考えに苦しんでいて、他の人に話しても理解してもらえないようなことがありますか？」

(必要に応じて適宜質問を補足し、気分と調和した妄想を伴った抑うつ状態と判断される場合には「2」をチェックせよ)

1 2 8 9

「最近、周りの人の嫌がらせに苦しんでいて、それを他の人に話しても理解してもらえないことがありますか？」

(必要に応じて適宜質問を補足し、気分と調和した妄想を伴った抑うつ状態と判断される場合には「2」をチェックせよ)

1 2 8 9

Q 16：心気症

「最近、体の不調が気になり、医者からは体に異常が無いといわれているにもかかわらず、体の重大な病気にかかっているのではないかと不安になりますか？」

(身体疾患に関する不安を認める場合でも、医師により既に身体的異常が除外されていることが確認できなければ「9」を、身体的な異常がないと確認される場合には「2」をチェックせよ)

1 2 8 9

【1ならばQ 17へ】

「体の病気にかかっているのは間違いないですか？」

1 2 8 9

【1ならばQ 17へ】

「それはどんな病気ですか？」

(必要に応じて適宜質問を補足する。医学的に不合理な身体の異常を訴え、心気妄想を伴った抑うつ状態と判断される場合には「2」をチェックせよ)

1 2 8 9

Q 17：被支配妄想

「最近、他の人には信じてもらえないような神秘的なものに支配されていると考えていますか？」

(必要に応じて適宜質問を補足する。神などの超越的な存在の影響下にあるという妄想や、宗教妄想に支配されていると判断される場合には「2」をチェックせよ)

1 2 8 9

Q 18：将来に対する悲観

「最近、将来のことを考えると悲観的になりますか？」

1 2 8 9

Q 19：精神障害に対する悲観

【精神科治療歴が過去も現在もない場合にはQ 20へ】

「最近、心の病気のために以前のような調子が出なくなったと感じていますか？」

1 2 8 9

「自分の病気はもはや治らないと思い、最近憂うつになることがありますか？」

1 2 8 9

「自分の精神状態がもっと悪くなると思い、最近怖くなることがありますか？」

1 2 8 9

Q 20：自制力の低下

「最近、自分の行動を抑えられず、してはならないことをしてしまうように感じていますか？」

1 2 8 9

「最近、何か危険なことをしまいそうに感じていますか？」

1 2 8 9

「最近、自分がコントロールできなくなるような気がして恐いですか？」

1 2 8 9

Q 21：焦燥感

「最近、いろいろして落ちつかないことが多いですか？」

1 2 8 9

※対象者の態度の客観的な観察から、焦燥を認めない場合には「1」、焦燥を認める場合には「2」、どちらとも言えない場合は「8」、情報が得られない場合は「9」をチェックせよ。

1 2 8 9

Q 22：昂揚感

「最近、頭がさえて晴れ晴れとした気持ちになることが多いですか？」

(肯定的回答を得た場合、その昂揚感が普段の気分とは異なったものであるかどうか、適宜質問を補足する)

1 2 8 9

Q 23：躁・うつ混合状態

「最近、気分が滅入ったり、逆に高ぶったり、変化しやすいですか？」

(必要に応じて適宜質問を補足し、躁・抑うつ混合状態にあると判断される場合には「2」をチェックせよ)

1 2 8 9

Q 24：反社会性人格傾向

「自分を抑えられず、警察沙汰や周りの人にひどい迷惑をかけるようなことが今までに何度もありましたか？」

1 2 8 9

「以前から、気が短くて人のいさかいが多い質ですか？」

1 2 8 9

「今までに、酒の上で大きな問題を起こしたり、シンナーや覚醒剤を使ったことがありますか？」

1 2 8 9

「以前に、学校を無断欠席したことが何度もありますか？」

1 2 8 9

「このような面接を受けていることに強い不快感を感じますか？」

1 2 8 9

※対象者の態度を観察して、対象者が評価者に拒否的ではないと判断される場合には「1」、拒否的であると判断される場合には「2」、どちらとも言えない場合には「8」、情報が得られない場合には「9」をチェックせよ。

1 2 8 9

Q 25：身体疾患の既往

「この6ヶ月の間に、体の病気で治療を受けたことがありますか？」

1 2 8 9

【1ならばQ 28へ】

Q 26：慢性または難治性の身体疾患

「その体の病気は慢性であるとか治り難いものであると医師に聞かされましたか？」

1 2 8 9

Q 27：身体疾患に伴う抑うつ症状

「体の病気になってから食欲がなくなり、体重が減りましたか？」

1 2 8 9

「体の病気になってから不眠になりましたか？」

1 2 8 9

「体の病気になってから将来に希望が持てなくなりましたか？」

1 2 8 9

Q 28：てんかん

「これまでに、痙攣や発作を起こし、医者からてんかんと診断されましたか？」

(必要に応じて診療録などを参照せよ)

1 2 8 9

【1ならばQ 30へ】

Q 29：側頭葉てんかん

「医者から側頭葉てんかんとか精神運動発作と診断されましたか？」

(必要に応じて診療録などを参照せよ)

1 2 8 9

Q 30：青年期以前の離別体験

「若い頃に親と死別したことがありますか？」

(どの範囲を若い頃とするかは、対象者の主観的な判断に任せよ)

1 2 8 9

「若い頃に親と別々に暮らしたことがありますか？」

(どの範囲を若い頃とするかは、対象者の主観的な判断に任せよ)

1 2 8 9

Q 31：親しい対人関係の喪失

「親しい人を失って悲しんだことがありますか？」

1 2 8 9

【1,8,9 ならばQ 33へ】

Q 32：喪失の時期

「それは最近のことですか？」
(どの範囲を最近とするかは、対象者の主観的な判断に任せよ)

1 2 8 9

Q 33：対人関係における心的外傷体験

「対人関係でひどく傷ついたり、人に対する信頼を失ったことがありますか？」

1 2 8 9

【1,8,9 ならばQ 35へ】

Q 34：心的外傷の時期

「それは最近のことですか？」
(どの範囲を最近とするかは、対象者の主観的な判断に任せよ)

1 2 8 9

Q 35：独居または独身

「現在、独身ですか？」

1 2 8 9

「現在、一人でお住まいですか？」

1 2 8 9

【2 ならばQ 37へ】

Q 36：家族関係における不安定

(設問中の家族は同居家族に限定せよ。長期入院患者など、質問が不適当である患者に対しては質問を行わず回答欄の「9」をチェックせよ)

「自分の家族や家庭はうまくいっていないと思いますか？」

1 2 8 9

「家族の中に、あなたとうまくいっていない人がいますか？」

1 2 8 9

「家族の中に、あなた以外で誰か困った人がいますか？」

1 2 8 9

Q 37：職業(学業)上または経済上の問題

「最近、仕事(勉強)や経済的な面で行き詰まりがありますか？」

1 2 8 9

Q 38：挫折体験

「最近、挫折と感じられる体験がありましたか？」

1 2 8 9

Q 39：援助の乏しさ

「最近、心の支えとなるものが少ないと 思いますか？」

1 2 8 9

Q 40：治療に対する過度の依存

「今、なんらかの治療を受けていますか？」

1 2 8 9

【1ならばQ 42へ】

「今の治療に頼りきっており、治療が中断するとひどく不安になると思いませんか？」

1 2 8 9

「今の治療がいつかは終わりになると思うと、ひどく不安になりますか？」

1 2 8 9

Q 41：治療に対する信頼低下

「今の治療に不安があり、何か不信感を感じていますか？」

1 2 8 9

Q 42：交友関係

「親友と思える人は1人もいないですか？」

1 2 8 9

【2,8,9ならばQ 44へ】

Q 43：親友の人数

「親友の数は多いですか、普通ですか、少ないですか？」

(該当する項目の□に×印) (何人までを多い、少ないとするかは、患者の主観的な判断に任せよ)

多い 普通 少ない

【18歳未満ならばQ 45へ】

Q 44：教育歴

「大学または短大に在学中か卒業されましたか？」

1 2 8 9

Q 45：就労

「これまでに一度も職についたことがありませんか？」

1 2 8 9

【2ならばQ 46へ】

「仕事についてもすぐにやめて、長続きしませんでしたか？」

1 2 8 9

「現在、無職ですか？」

1 2 8 9

【2,8,9 ならばQ 46 へ】

「仕事のうえで、遅刻や欠勤が多いですか？」

1 2 8 9

Q 46：社会的機能の低下

「以前は無理なくできていた仕事(勉強)や交際が、今では十分にできなくなったと周りの人に言われていますか？」

(対象者をよく知るものとの評価を尋ねる)

1 2 8 9

「以前は無理なくできていた仕事(勉強)や交際が、今では十分にできなくなったと思いませんか？」

1 2 8 9

※評価者が社会的機能の低下を認めないと判断する場合には「1」、認めると判断する場合には「2」、どちらとも言えない場合には「8」、情報の得られない場合には「9」をチェックせよ。

1 2 8 9

Q 47：不眠

「最近、毎晩眠れなことです悩んでいますか？」

1 2 8 9

【1,8,9 ならばQ 48 へ】

「眠れない日は何日間位続いていますか？」

不眠の持続日数 []

※不眠の種類（該当する項目の□に×印を記入、複数回答可）

入眠困難 中途覚醒 早朝覚醒 完全不眠

Q 48：記憶力低下の自覚

「最近、物忘れがひどいとか、物覚えが悪いと感じますか？」

1 2 8 9

Q 49：執着気質

「あなたは物事に熱中しやすいたちですか？」

1 2 8 9

「あなたは義務や責任感に捕らわれやすいたちですか？」

1 2 8 9

「あなたは几帳面で、物事をいいかげんに済ませることができないたちですか？」

1 2 8 9

「以上で質問は終わりました。長時間にわたり質問にお答えくださいましてありがとうございました。」

SOS-9（絶望感）下位尺度

SOS-9はSOS-DRから派生した尺度で、自殺傾向の中で最も重要な心理的因子とされるます絶望感を評価するために、SOS-DRの中の9項目から構成されています。さらに各質問項目に対する回答—否定（1）肯定（2）判定不能（8）回答欠如（9）—によって、重み（1 2 2 1, 2 4 4 2, 3 6 6 3）が変えてあります。この得点を合計して26点以上ならば絶望感が強いと判断します。

回答			
1	2	8	9

Q5：現在の自殺念慮

「最近、あなたは死にたいと考えますか？」

「死にたいという考えはしばしば浮かびますか？」

2	4	4	2
3	6	6	3

Q13：自責感

「最近、あなたは何事につけても必要以上に自分を責めてしましますか？」

1	2	2	1
---	---	---	---

Q19：精神障害に対する悲観

「自分の病気はもはや治らないと思い、最近憂うつになることがありますか？」

「自分の精神状態がもっと悪くなると思い、最近怖くなることがありますか？」

3	6	6	3
2	4	4	2

Q27：身体疾患に伴う抑うつ症状

「体の病気になってから将来に希望が持てなくなりましたか？」

1	2	2	1
---	---	---	---

Q39：援助の乏しさ

「最近、心の支えとなるものが少ないと思いますか？」

3	6	6	3
---	---	---	---

Q40：治療に対する過度の依存

「今の治療に頼りきっており、治療が中断するとひどく不安になると思いますか？」

「今の治療がいつかは終わりになると思うと、ひどく不安になりますか？」

1	2	2	1
3	6	6	3

1 否定

2 肯定

8 対象者は質問を理解しているが、対象者自身はどちらとも判断できない

9 質問をしなかつた・質問をしても情報が得られない

Beck の絶望感尺度（BHS）との相関から SOS-9 は 26 点以上を危険群としています。

	SOS-9 < 26	SOS-9 ≥ 26	合計
BHS < 10	2 4	5	2 9
BHS ≥ 10	5	1 8	2 3
合 計	2 9	2 3	5 2

BHS:Beck Hopelessness Scale(1985)

著作者：中村 道彦
小野 泉
改訂年：2010年